

●第152号(二〇〇三年三月)

- 特集：市民力との協働—そのあり方を考える
- 1 公益的の市民活動団体と行政との協働のあり方  
岸 由二・川崎あや・濱田静江・名和田足彦・中田 宏 コーディネーター 平岩千代子  
横浜市市民活動共同オフィスにおける市民協働
  - 2 横浜市市民活動共同オフィスにおける市民協働  
丸橋敏之  
職員意識、市民意識から市民力との協働を考える
  - 3 職員意識、市民意識から市民力との協働を考える  
編集部
  - 4 NPOを巡る都市間の競争と連携—隣接する他都市の市民協働の動きから横浜を振り返る—  
井東明彦・熊澤隆士・小座野信吾・寺谷啓一・中村 茂・羽生謙五・荒川義則  
社会セクターとしてのNPOの意義と役割
  - 5 ①協働における中間支援組織の登場と役割  
内海 宏・桜井悦子  
②協働の都市経営のための情報力について考える  
③地域経済の新たな担い手  
協働のありかた研究会 情報分科会  
横浜市コミュニティビジネス実態調査の概要  
大友靖子
  - 6 NPOとの協働の仕組みを考える  
①公益的の市民活動団体への資金助成のありかたを考える  
伊賀千晴・石佛敦子・小野寺紀子・小林明仁・小林康夫・関口昌幸・富岡典夫・古谷朋子  
②委託をとおして協働を幸える—新しい協働事業の仕組みを探る—  
中野 創・村田和義・秋野奈緒子・中川久美子  
横浜ならではの新しい協働事業の展開を考える  
③市民参加のまちづくりから協働のまちづくりへ  
(港北ニュータウン荏田南地区の試み)  
續橋宏昭・宮澤 好  
④樹林地・農地をめぐる市民・地権者と行政の新たな関係を探る  
江成卓史・田並 静・大倉佳直・吉武美保子  
⑤横浜らしい都心の賑わい創出と協働の文化活動  
榎木誠司・梶山祐美・秋元康幸
  - 7 ①樹林地・農地をめぐる市民・地権者と行政の新たな関係を探る  
江成卓史・田並 静・大倉佳直・吉武美保子  
②横浜らしい都心の賑わい創出と協働の文化活動  
榎木誠司・梶山祐美・秋元康幸
- 第153号(二〇〇三年十一月)
- 特集：非「成長・拡大」時代の財政改革  
持続可能な財政の確立へ向けて
- 1 対談：都市経営時代の財政制度改革  
跡田直澄、中田 宏
  - 2 予算編成改革の概要—自律・分権型予算編成システム  
財政課予算編成改革検討チーム
  - 3 都市経営の視点からの行政運営システムの転換  
竹前 大
  - 4 地方分権時代にふさわしい地方税のあり方  
地方自治体における課税自主権活用の現状と課題  
松井伸明
  - 5 地方の自立を実現する地方財政制度のあり方  
①三位一体の改革に関する横浜市の考え方  
三位一体改革緊急プロジェクトチーム  
②地方債制度における自由度拡大に向けた取組  
財政局総務課市債係  
水野敦志
  - 6 金融市場からみた地方債  
プロジェクトY  
2002 FIF Aワールドカップが残したものと  
①巨大イベントの舞台裏  
久代雅之  
②ワールドカップは終わり、7万人スタジアムが残った  
木村重治  
③市民ボランティアの得たもの  
金平三雄  
④ヨコハマは千載一遇のチャンスを活かしたか？

—アルジェイロ一家との出会いを通じて

- ⑤サッカーパークの運営と市民スポーツの環境  
神林飛雄史
  - 赤潮発生への対応  
情報共有化による迅速かつ統一的な市民対応の実践  
中村裕子
  - 若手職員のコーナー  
政策形成と職員参加  
江原 頭、津田恭子、草柳祐介、前田慶美
- Q & A  
地方分権はなぜ必要なの？
- 第154号(二〇〇四年三月)
- 特集1：「人口減少社会に臨む都市・横浜」
- 1 横浜にとつての人口減少社会を考える  
横浜コミュニティ基礎調査PJ  
東京圏における人口減少社会の構造を考える
  - 2 市域における人口動態・構造をメッシュ統計で探る  
—まだらもようで訪れる横浜の人口減少社会—  
入江佳久・谷口和豊
  - 3 都市臨海部における人口回帰現象がもたらす課題  
田中昌史  
ソサエティ—横浜南西部郊外から考える
  - 4 人口減少社会に臨む新しいコミュニティ施策の視点  
—多様な主体の協働によるコミュニティからの横浜リバイバルを目指して—  
編集部
  - 5 芸術文化で再生を図る欧州のクリエイティブ・シティ  
ビルバオ、ナント、アムステルダムを中心に  
吉本光宏
  - 6 「創造都市」への挑戦—各地の取り組みから—  
佐々木雅幸  
創造都市への取り組みと国際交流基金の役割  
菅野幸子  
クリエイティブ・シティの形成に向けて  
野田邦弘
  - 5 創造的都市形成—都心部活性化とNPOの役割  
プロジェクトY  
杉浦裕樹・大枝奈美・高峯 高
  - 4 区役所の「意識改革・行動改革・構造改革」の取り組みを追う  
総論「見えてきた新しい区役所の姿」  
谷邊寛和・関口昌幸  
①顧客サービスの改善・拡充の取り組み—  
(港南区)  
内山 勲・石内 亮・水野圭一郎  
②職員の自発的な提案による区役所改革への挑戦  
(旭区)  
鈴木宣美  
③区民と区職員の声に基づく区役所改革の取り組み  
(青葉区)  
落合明正・城内孝元・五味早智子
  - 3 区における地域行政機能の拡大・強化  
①「ハマちゃんパス」実験運行開始に向けた西区役所の取り組み(西区)  
渡辺 将  
②区による予算要求の試行を活用した港北区役所屋上緑化事業の試み(港北区)  
水谷 誠・今井健太郎
  - 4 民間施設の活用と最適なサービス供給主体の選択—

①民間ビルを活用した親子広場事業(中区)

- ②幼稚園の空き教室を活用した親子支援事業(瀬谷区)  
大越典子・川口佳子
  - ③旧町内会館を活用して不登校児童・生徒が心安まる居場所をつくる(金沢区)  
山口 晃  
事業の概要と今年度の取組状況  
浜谷治雄  
民の力を活かした風力発電の事業化  
小田 厚・西原 元・野崎博幸・竹間 徹・溝川 厚・肥田雄三・中山重昭  
学校給食への市内産農産物の供給拡大  
杉浦英佳・藤井綾子・竹田隆彦・阿部静乃・金子澄江・今野江利子・須藤理恵  
「ミュージアム・シティ・ヨコハマ」づくり  
米満東一郎・田中礼子・西宮節子・新谷雄一・鬼木和浩・田畑智子・鈴木 稔  
市民提案—市民主体の身近なまちづくり  
肥山達也・酒井 純・落合健太郎・高塚 篤・中澤正紀  
民間とのタイアップによる広告料収入の拡大  
斎藤紀子・横内 仁・吉田 剛・河村昌美・松本恵里子・手塚昌宏・渡辺 敦  
若手職員が創る企画ページ  
工夫で至福の福祉局—個性ある仕事で現場が生き生き—  
福石直美・大里和己・松石 徹・斎田恭代
- Q & A  
なぜG30は必要か  
へら星人ミミオが聞く「ヨコハマはG30」  
渡辺貴志

あとがき

これまでは調査季報の1読者に過ぎなかつたのですが、チャンスをおいただき今回の「プロジェクトY」分権時代の条例策定—という企画に関わり貴重な体験をすることができました。

一言で分権と言っても、条例制定権の拡大、三位一対改革、庁内分権の推進などさまざまなテーマで取り組むべき課題があり、分権は本当に裾野の広い、奥の深い分野だと思います。

今回のプロジェクトYでは、政策法務のオビニオンリーダーとして、日々お忙しい上智大学の北村先生に講師を引き受けていただき、政策法務という切り口で、地方分権一括法施行後の条例制定の新しい可能性を考える研究会を開催することができました。

先生との打合わせ、議事録のリライトなど密度の濃い作業をつうじて、自分にとつても視野を広げる有意義な仕事とすることができました。

出席者のある方に「こういう場を設ける役割は都市経営局だからこそ担うことができるんじゃないですか」と声をかけていただいたのですが、研究会の開催は、普段別々の業務で地方分権や政策法務に取組む職員の考え方を互いに共有する第一歩となったのかもしれないですね。

改めて、北村先生、お忙しい中研究会に参加いただいた皆様、プロジェクトYに執筆いただいた皆様、本当にありがとうございました。(行田)

155

# 調査季報

CHOUSA KIHOU  
2004.10

編集・発行

横浜市都市経営局政策課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
TEL.045-671-4087  
2004年10月20日発行

横浜市広報印刷物登録  
第160227号  
類別・分類A-BC060  
印刷/株式会社ガリバー

ISSN0387-8899

この印刷物は再生紙(古紙混入率70%)を使用しています



500円(消費税込み)